

野幌若葉自治会第26回夏祭り・第2回子ども花火大会開催概要

野幌若葉自治会文化部

1 日 時

- (1) 令和5年8月5日(土) 13:00~15:30 (昼の部: 子供縁日他)
- (2) " 18:00~20:00 (夜の部: 花火大会)

2 場 所

- ・とちのき公園内
- ・公設グラウンド(無観客)
- ※ 事故防止のため自治会ホームページにより、各家庭での観覧を周知済み

3 参加人数

- (1) スタッフ 自治会役員約30名、ボランティア13名(情報大10名、会員3名)
- (2) 自治会員参加数 未計測(前年度 子供90名、大人80名 計170名)

4 内 容

(1) 夏祭り子供縁日ほか(令和元年度より4年ぶり開催)

- 子供縁日(かき氷、ラムネ、綿あめ、お菓子詰め放題など)やキッチンカーによる焼鳥販売、江別地ビールの販売を実施した。
- 情報大によるアコースティックギター演奏やおやじバンド、マジックショーも夏祭りのイベントを盛り上げた。
- 情報大 藤本ゼミの支援により、準備段階のチラシやPOP作成の他、当日スタッフの派遣があり、前回より役員招集人数を約3割削減のうえ、休憩時間の明確化やスケジュール管理により、役員負担が大幅に軽減された。
- 天気予報による順延の判断(8/1時点)が難しく、当日、子供縁日の自治会館内での実施を判断した。
- 悪天候による順延の判断結果をホームページに掲載する旨、事前周知するなど迅速に会員と共有する方法を別途、役員会で検討
- 車両が通行する際に子供が飛び出す事案が生じたため、役員が臨機応変に交通整理を実施したが、事前に昼の部の混雑に対する安全確保対策の必要性を認識・共有していなかった。
- キッチンカーによる焼鳥の販売や地ビールの販売も想定より、順調に売上が進み、16:00時点で完売した。ビールは当初40ℓでは足りず、ピルスナー1樽(20ℓ)追加した。

(2) 噴き出し花火の実演会（昨年度から2年目）

- 令和元年以来の2部編成（昼・夜）はスタッフ変更のため、大幅な作業負担が想定されたが、情報大スタッフによる、場内アナウンス、着火パフォーマンスや準備・片付け作業などの支援が得られ、役員の負担が削減できた。
- こども達から花火が打ち上がるたびに歓喜や拍手が沸き起こり、特に大きな音が鳴る打上花火はとても盛り上がった。
- 今年は花火が品薄のため、単価が千円程度の連発打上花火の確保ができなかった。
- インターネット予約などによる仕入れルートの確保が課題。
- 雪囲いの板に打ち上げ花火や手持ち花火を針により50cm間隔で固定（昨年度は布テープ）した。
- 着火のライターはやけど防止のため、軍手着用のうえ、チャッカマンが望ましい。（5本程度確保）

(3) 打ち上げ花火

- 町内の公設グラウンド管理者やマンション自治会の承諾を得て、無観客による打ち上げ花火を実施。
- 交通事故や住民トラブルを防止するため、昨年度は自治会会員には各家庭による観覧を推奨し、実施日時のみ周知したが、今年は実施場所を明記したため、自転車や歩行者による横断歩道などの箇所での渋滞が発生した。
- 予算を増額のうえ、約15分程度で終了したが、地域住民から拍手や感動の声など反響が大きかった。
- 会員や協力企業による協賛金が目標金額（100千円）を達成できたため、大幅な赤字とならなかった。

(4) その他

- 仮設の架空線設置による電気工事は会場変更に対応できなかったため、結果的に自治会館や管理人家庭用電源を消費した。
- ポータブル発電機のリースもしくは、災害用備品購入による、電源の確保を検討（ガソリンの保管は少量危険物なので携行缶も併せて購入）
- 次年度以降の企画会議に改善案を提出するため、自治会役員向けアンケートを予定
- 打上花火の実施は、交通渋滞や事故防止対策が重要であり、観覧席の設置には安全な敷地面積や駐車場の確保などが必要なることから、近隣自治会や大学等との共同開催も検討したい。

以 上